

## ずいき（さといも（葉柄））

ずいきには、「さといも（葉柄）」、「ずいき類」、「茎野菜類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

—— 発病・加害時期  
 == 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハウス早熟 普通 露地抑制	種いも	○											
	伏せ込み		▲										
	定植		○→	▲									
軟腐病 ハスモンヨトウ アブラムシ ハダニ	収穫					■							
	発病・加害時期						—	—	—	—	—	—	—
	発病・加害最盛期						==	==	==	==	==	==	==

### 軟腐病

#### 留意事項

- 1 収穫直前に雨が続くと被害が多い。
- 2 病原菌は土中及び被害部に付着して越冬する。

#### 防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 連作を避ける。
- 3 被害株は早期に除去する。
- 4 植付け時に無病いもを用いる。

### 黒斑病

#### 防除方法

- 1 種いもは、無病地から採取する。
- 2 植付け時に無病いもを用いる。

### ハスモンヨトウ

#### 留意事項

- 1 年5～6回発生で8～9月頃の被害が最も大きい。
- 2 老齢幼虫の防除は困難なので、若齢期防除に重点を置く。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## 防除方法

- 1 下記の薬剤を、若齢幼虫期を対象に散布する。
  - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【2,000倍 7日／2回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3 【2,000倍 3日／2回】
  - ・ [トレボン乳剤](#) 3 A 【1,000倍 7日／3回】
  - ・ [BT剤](#) 1 1 A (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類参照)

## アブラムシ類

### 留意事項

- 1 アドマイヤー顆粒水和剤は、希釈倍数を間違えないよう注意する。

### 防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) 4 A 【4kg／10a 植溝土壌混和 植付時／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【3,000倍 7日／2回】
  - ・ [アドマイヤー顆粒水和剤](#) 劇 4 A 【10,000倍 前日／2回】
  - ・ [粘着くん液剤](#) — 【野菜類 100倍 前日／—】
  - ・ [サンクリスタル乳剤](#) —  
 【野菜類（除なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎく） 300倍 前日／—】

## ハダニ類

### 留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [コロマイト乳剤](#) 6 【1,000倍 前日／2回】
  - ・ [カネマイトフロアブル](#) 2 0 B 【1,500倍 7日／1回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3 【カンザワハダニ 2,000倍 3日／2回】
  - ・ [粘着くん液剤](#) — 【野菜類 100倍 前日／—】
  - ・ [サンクリスタル乳剤](#) —  
 【野菜類（除なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎく） 300～600倍 前日／—】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用时には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。